

総務委員会 情報連絡

令和5年6月26日

情報連絡事項	頁
1 令和6年度行財政運営方針の発表時期の変更について・・・・・・・・・・	2
2 あだち虹色寄附 令和4年度の実績報告について・・・・・・・・・・	3
3 「あだち安心電話」の発信訓練の結果について・・・・・・・・・・	9
4 令和4年度WEB媒体を活用した情報発信の実績について・・・・・・・・	11
5 令和4年度区内六大学との連携事業一覧について・・・・・・・・・・	14

【参考】《子ども・子育て支援対策調査特別委員会 報告事項》

※資料は、子ども・子育て支援対策調査別委員会（政策経営部）の報告資料にあり

- 1 夏休み期間中（7/21～8/31）における食の支援及び体験講座等の無料化について
- 2 若年者支援事業の進捗等について

【参考】《エリアデザイン調査特別委員会 報告事項》

※資料は、エリアデザイン調査特別委員会（政策経営部）の報告資料にあり

- 1 エリアデザインについて
- 2 綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（綾瀬ゾーン）の取組み状況について
- 3 綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（北綾瀬ゾーン）の取組み状況について
- 4 花畑エリアデザインの取組み状況について
- 5 六町エリアデザインの取組み状況について
- 6 江北エリアデザインの取組み状況について
- 7 西新井・梅島エリアデザインの取組み状況について
- 8 竹の塚エリアデザインの取組み状況について
- 9 千住エリアデザインの取組み状況について

（ 政策経営部 ）

総務委員会情報連絡

令和5年6月26日

件名	令和6年度行財政運営方針の発表時期の変更について
所管部課名	政策経営部 政策経営課、財政課
内容	<p>行財政運営方針とは、区の基本構想で示した将来像「協創力でつくる 活力にあふれ進化し続ける ひと・まち 足立」の実現に向けて、各年度における組織・定数・任用管理並びに予算編成に係る基本方針を定めたものである。</p> <p>この方針に沿って当初予算編成をしていくにあたり、これまで以上に事業の優先順位を的確に見極め、真に必要な諸施策を打っていくため、令和6年度当初予算編成より作業スケジュールの見直しを行った。</p> <p>この結果、行財政運営方針の発表時期が変更となったため、以下の通り報告する。</p> <p>1 変更内容 行財政運営方針の発表時期 例年 8月下旬 → <u>変更後 9月中旬</u></p> <p>なお、議会からの予算要望への回答、予算プレス発表、議会における予算案の審議時期は例年通り。</p> <p>2 変更した理由 先行きが不透明な現在、区民の生活実態や事業者の状況を把握し、対策を講じるにあたり、なるべく多くの検討期間を確保し、より必要な施策を打つことを可能とするため。</p> <p>3 問題点等 当初予算編成スケジュールの変更による課題等について、各部より意見聴取を行う。</p> <p>結果について分析のうえ、必要に応じ次年度以降のスケジュールへ反映させる等、さらなる改善を図っていく。</p>

総務委員会情報連絡

令和5年6月26日

件名	あだち虹色寄附 令和4年度の実績報告について
所管部課名	政策経営部 財政課、協働・協創推進課
内容	<p>あだち虹色寄附制度は、区の事業目的に賛同していただいた方からの寄附を事業に活用することで、寄附者と一緒にまちを創り、心の通い合う温かい地域社会を構築していくことを最大の目標としている。</p> <p>1 あだち虹色寄附制度の体系について</p> <p>寄附する額によって住民税などが優遇される「ふるさと納税制度」を内包させ、寄附者が使い道を選び、自身の想いを区の事業に反映させる仕組みとしている。</p> <p>※ 使い道の詳細は2-(4)寄附の受入実績を参照。</p>

2 あだち虹色寄附の令和4年度実績

(1) 寄附実績一覧

年間実績	令和3年度		令和4年度	
	件数	実績額 (千円)	件数	実績額 (千円)
あだち虹色寄附	288件	186,896	617件 (+329)	296,060 (+109,164)
内訳	個人分 (ふるさと納税)	219件	492件 (+273)	244,042 (+104,850)
	企業・団体分	69件	125件 (+56)	52,018 (+4,314)

※ () は前年度との差

令和3年度と比較して、件数は約2.1倍の増加、寄附額についても約1.6倍の増加となり、過去最高額となった。

(2) 寄附実績の増減要因

- ア 令和4年10月からふるさと納税返礼品を拡充(12品目→64品目)したことで、寄附を呼び込めるようになった。
- イ 令和4年度の途中から、寄附の使い道に、動物愛護事業、パラスポーツ普及事業、絵本の読み語り事業を追加するなど使い道を明確にしたことで、多くの方から寄附先として選んでもらえた。
- ウ 特別養護老人ホーム等の整備事業に個人からの大口の寄附があった。

(3) 寄附の受入先に関する変更点

- ア 動物愛護事業及びパラスポーツ普及事業は令和4年7月から、絵本の読み語り事業は令和4年9月から、寄附の使い道に追加している。
- イ 大学病院施設整備は、東京女子医科大学附属足立医療センターが完成したことを受けて、令和4年8月に寄附の受付を終了した。
- ウ コロナ対策医療従事者支援及びコロナ対策中小事業者支援は、感染症法上の位置づけが変更になったことを受けて、令和5年6月末で受付を終了する予定。

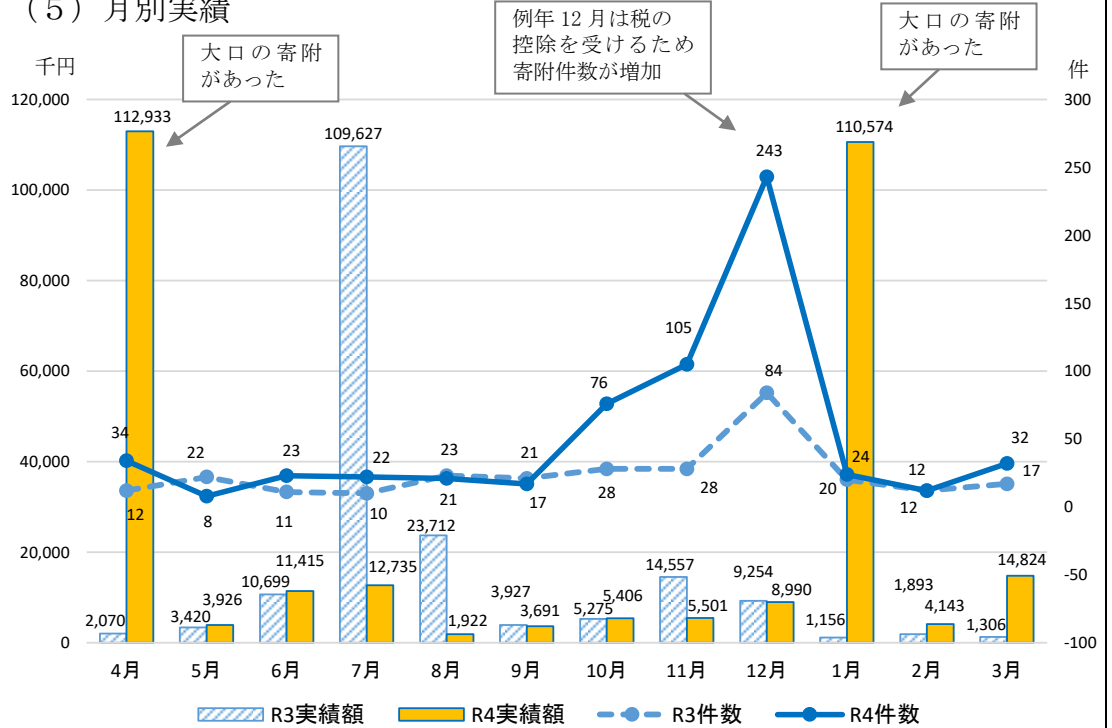
(4) 寄附受入実績

(件数の多い順に掲載)

寄附の使い道 ※ () は基金名	令和3年度		令和4年度	
	件数	実績額 (千円)	件数	実績額 (千円)
1 子ども食堂・児童養護施設 単立ち支援 (あだち子どもの未来応援基金)	91件	134,067	178件	19,474
2 動物愛護事業 【令和4年7月から追加】	—	—	138件	2,952
3 ボランティア・NPO活動 支援 (協働・協創パートナー基金)	21件	1,412	89件	3,689
4 育英資金貸付などの進学支援 (育英資金積立基金)	41件	7,044	61件	81,768
5 緑の保全・維持管理活動 (緑の基金)	29件	1,703	48件	2,286
6 コロナ対策 医療従事者支援 【令和5年6月末受付終了予定】	50件	3,703	26件	51,188
7 特別養護老人ホーム等の整備 (地域福祉振興基金)	12件	800	21件	111,725
8 絵本の読み語り事業 【令和4年9月から追加】	—	—	20件	1,250
9 文化芸術振興活動の支援 (文化芸術振興基金)	9件	200	11件	290
10 パラスポーツ普及事業 【令和4年7月から追加】	—	—	7件	500
11 コロナ対策 中小事業者支援 【令和5年6月末受付終了予定】	10件	443	7件	464
12 環境保全活動の支援 (環境基金)	3件	280	4件	311
13 大学病院施設整備【受付終了】 (大学病院施設等整備基金)	3件	650	1件	100
14 その他の寄附	19件	36,595	6件	20,062
合 計	288件	186,896	617件	296,060

※表示金額は表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため合計に一致しない場合がある。

(5) 月別実績



(6) 返礼品実績

別紙のとおり

3 今後の方針

寄附の受入金額の増をめざし、寄附の使い道を明確にするとともに、ふるさと納税の新規返礼品候補の開拓を進め、10月以降に追加していく。

別紙

寄附額区分	返 礼 品	実績数
30万円	ランドセル (ハーモニック・レザー)	2 個
25万円	ランドセル (牛革ゴルサ)	4 個
	ランドセル (牛革スーパータフ)	1 個
20万円	ランドセル (クラリーノ)	1 個
15万円	和食板垣会食プラン 2名様分	3 個
	選べる昆虫オブジェ	1 個
10万円	JOURNEY エンブroidアリー 2WAYボディバッグ	15 個
	手植え洋服ブラシ お手入れクシセット	14 個
	銀製 すぎ目 (ござ目) ぐい呑み	8 個
5万円	味問屋明日香本店コース料理 2名様お食事券	15 個
	あだちの銭湯一番風呂 貸切入浴利用券	7 個
	江戸刺繍ペーパーウエイト (馬)	1 個
	ザオーブロックプロペラ機 Z-001 (赤・青)	1 個
	足立道具店 ステンレスハンガー6本・S字フック2本セット	1 個
3万円	夜の生物園でディナー&ナイトツアー	5 個
	めっちゃ足立区セット (コーヒー豆、ペナント、湯飲み、キーホルダー、財布バッグ)	4 個
	極み濃厚つけ麺4食、醤油ラーメン3食 (チャーシュー、メンマ、魚粉、辛味付き)	3 個
	伝統工芸 江戸節句人形 和works 招き猫	2 個
	リポブロックベーシック450カラフル	1 個
	国産ひまわり種子オイル配合/スキンケア化粧品セット	1 個
3万円	あだち菜うどん&パスタ お試し2食セット (~R4.9まで)	39 個
2万円	宇豆基野本店お食事券	20 個
	キャラメルアーモンドプラリネ	7 個
	チーズケーキ	2 個
	てまりづくり体験チケット (or てまりキット)	1 個
	冷凍ローズブーケケーキ5号	1 個
	江戸刺繍バッグハンガー (花模様)	1 個

寄附額区分	返 礼 品	実績数
1万円	医療器具屋さんが作った耳かき 医療職人の技	21 個
	お肉屋さんのこだわり 特選黒毛和牛ハンバーグ	16 個
	樹苞（きぼう）の手延べ焼小籠包セット「桃 momo」	14 個
	牛すじ煮込みと牛タンシチューのセット	13 個
	冷凍ケーキ缶 3種セット	10 個
	大江戸きんつば詰合せ12個入	10 個
	オリジナルミールキット 2名分 3種セット	9 個
	あだち菜うどん&パスタ 4食セット	6 個
	ふるさとチョイス限定おやつセット （どらやき他限定詰合せ）	6 個
	【足立区発】伝統の味を更に進化！弊社人気商品 ピーナツおこし、たべるきなこ食べ比べセット	6 個
	はれてまりプリン	3 個
	特製NIHIRO餃子	3 個
	CaffeRisataの自家焙煎ビーンズベストセレクト	3 個
	「足立区のお米いただきま〜す！」足立区都市農業公園満喫 セット	3 個
	あだち菓子本舗（あだちのお菓子）8種類詰合せ	2 個
	【障がい者雇用支援】ミニ熊手とコーヒーのセット	2 個
	アニマルシェイプキーケース	2 個
	キムチセット	2 個
	3施設ペア招待券セット （郷土博物館・生物園・ギャラクシティ）	2 個
	ピンバッジセット	2 個
	国産ティートリー水&オイル配合/植物由来の洗剤セット	1 個
ようかん巻バラエティセット	1 個	
合 計		298 個

総務委員会情報連絡

令和5年6月26日

件名	「あだち安心電話」の発信訓練の結果について
所管部課名	政策経営部 報道広報課
内容	<p>「あだち安心電話」及び「あだち安心FAX」の発信訓練を実施したので報告する。</p> <p>1 システムの概要</p> <p>(1) あだち安心電話 大雨や台風の際に河川の水位や避難情報などを電話で登録者に自動音声でお知らせするシステム。河川の増水時は、申し込み時の住所で一定のエリアを絞り、氾濫しそうな地域に優先配信する。6月1日現在 29,270 件の登録があり、発信には1件あたり約1秒を要する。</p> <p>(2) あだち安心FAX あだち安心電話のFAX版。聴覚に障がいのある方や、聞こえづらい方への情報発信ツールである。6月1日現在 291 件の登録があり、デジタル通信のため数秒で発信が終了する。</p> <p>2 発信訓練について 毎年2回、出水期前及び11月頃にそれぞれ2地区程度（基本的に地区町自連単位）、災害時に備えて発信訓練を行っている。発信訓練を行う地域は、過去に訓練を行っていない地域で河川に近い地域を優先的に行う。</p> <p>3 訓練目的</p> <p>(1) 河川水位の上昇時に電話がかかってくることを日頃から意識していただく。</p> <p>(2) 登録されている電話番号又はFAX番号に、正確に発信できるか確認する。</p> <p>4 発信内容 水害発生の恐れがある場合に、あだち安心電話・あだち安心FAXから避難情報等の発信がある旨のお知らせをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【発信内容（例）】 これは訓練です。避難の必要はありません。あだち安心電話では、台風などにより、河川の水位上昇・氾濫のおそれがある場合、避難情報などをお知らせします。 いざというとき、自らの身を守るため、ハザードマップを確認するなど、日頃から備えましょう。</p></div>

5 対象者、実施地区および日時

下記実施地区であだち安心電話に登録している方

(1) 新田地区連絡協議会

(新田一丁目、新田二丁目、新田三丁目) 475件

5月22日(月曜日)午後3時から発信

(2) 中央南町会・自治会連絡協議会

(足立一丁目、足立二丁目、足立三丁目、足立四丁目の一部、

梅田一丁目、梅田三丁目の一部、中央本町二丁目の一部) 819件

5月29日(月曜日)午後3時から発信

(3) あだち安心FAX 291件(登録中の番号全件)

5月29日(月曜日)午後3時から発信

6 あだち安心電話の結果

対象	電話がつながった		電話がつながらなかった	
	件数	割合	件数	割合
新田地区連絡協議会	303件	63.8%	172件	36.2%
中央南町会・自治会連絡協議会	510件	62.3%	309件	37.7%
合計	813件	—	481件	—

7 あだち安心FAXの結果

対象	到達		未到達	
	件数	割合	件数	割合
全登録者	291件	100%	0件	0%

8 問題点等

- (1) 「あだち安心電話」の電話がつながらなかった件数(481件)のうち、何も操作されなかった426件については、直接電話を掛け、現在使われている電話番号であるか、継続するか等の確認を行っていく。

※ これまでの「何も操作されなかった方」の後追い調査の傾向は、以下のとおり。

ア 継続の意向 約25%

イ 脱退の意向又は電話が使われていない 約25%

ウ 後追い調査でも電話に出ない 約50%

- (2) 視覚障がい者団体と意見交換した際、「あだち安心電話」を知らない方もいたため、関係団体と協力しながら周知の方法を検討する。

- (3) 「あだち安心FAX」については、年に1度の発信訓練を継続する。

総務委員会情報連絡

令和5年6月26日

件名	令和4年度WEB媒体を活用した情報発信の実績について
所管部課	政策経営部 シティプロモーション課
内容	<p>令和4年度から開始したWEB媒体を活用した情報発信の実績を以下のとおり報告する。</p> <p>1 目的 第三次足立区シティプロモーション戦略方針で定めた、区外からの評価を高める取り組みの一環として、WEB媒体を活用し、区のプラス情報を広く発信・拡散することによって、根強く残る区のマイナスイメージを上書きし、イメージアップを図る。</p> <p>2 WEB媒体について (1) WEB媒体 プレスリリースサイト「PRTIMES」 (2) 概要 全国のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEBメディア等、230を超えるメディアに対してプレスリリースを配信することができるWEBサービス (3) 導入時期 令和4年4月</p> <p>3 年間発信件数 38件 ※ 発信する記事は、区のイメージアップに繋がるもので、かつメディアが取り上げ易い記事に限定して発信している。</p> <p>4 掲載内容 別紙「令和4年度ページビュー・閲覧者実績一覧」参照</p> <p>5 閲覧者数について (1) 閲覧者数（令和4年4月～令和5年4月） 94,177人 ※ 発信1か月後の閲覧者数を合計 (2) 閲覧者数が多かった記事 ア 「舎人公園千本桜まつり」が4年ぶりに復活（15,011人） イ 区内周遊型謎解き宝探しイベントを開催（13,267人） ウ 「竹の塚まちづくりラボ・プロジェクト」始動（10,665人）</p>

6 メディア掲載について

(1) メディア掲載実績（令和4年4月～令和5年4月）

テレビ17件、新聞30件、WEB記事18件 ※ 所管課調べ

(2) メディア掲載が多かった記事

ア おいしい給食人気メニューをセブンイレブン178店舗で販売

イ ふるさと納税返礼品拡大

ウ 「おいしい給食フェア」開催

7 今後の方針

今後も区のイメージアップを図るために、区の先進的な取り組みなどを中心とした情報発信を積極的に行っていく。

NO	件名	リリース日	閲覧者数 ※1カ月間の 閲覧者数	WEBサイト転載	掲載メディア ※シティプロモーション課調べ
1	舎人公園千本桜まつり開催	3月29日	15,011名	31件	【新聞・1件】読売新聞 【WEB・1件】夜景FAN
2	謎解き宝探しイベント「見つけ出せ、足立に眠る 真実の宝～石塚 千に届いた不思議な手紙～」 スタート	2月2日	13,267名	27件	【新聞・3件】朝日新聞、読売新聞、東京新聞 【WEB・1件】ハンターズビレッジ
3	「竹の塚まちづくりラボ・プロジェクト」始動	1月20日	10,665名	29件	【WEB・3件】住宅新報web、サテマガBi、新・公民連携最前線PPP まちづくり
4	「千住・人情芸術祭 1DAYパフォーマンス表現 街」開催	11月2日	4,629名	20件	【WEB・2件】yahoo!ニュース、excite. ニュース
5	「光の祭典2022-ADACHI Christmas Illuminations-」開催	11月30日	4,048名	21件	【テレビ・2件】テレビ朝日「スーパーJチャンネル」、日本テレ ビ「スッカリ」 【WEB・1件】レッツ・エンジョイ・東京
6	セブン×足立区企画「えびクリームライス」 「こまつなサラダ」を発売	5月30日	3,735名	28件	【新聞・3件】都政新報、東京新聞、NEWSTOKYO 【テレビ・6件】TBS「Nスタ」、TBS「THE TIME.」、TBS「ひるお び」、TOKYOMX「news FLAG」、J:COM「つながるNews」、フジテ レビ「Live News イット」 【WEB・4件】TBS「NEWS DIG」、ネタトビ、BCN+R、オリコン ニュース
7	千住の旧板垣家住宅が国登録有形文化財に登録	8月3日	2,951名	24件	タイムアウト東京
8	「大千住マップ」が6年ぶりにリニューアル	4月27日	2,774名	26件	東京新聞
9	安養院・大黒湯の唐破風移築「完成披露の日」	9月16日	2,392名	26件	【新聞・2件】朝日新聞、東京新聞 【テレビ・1件】日テレ「news every.」
10	足立区制90周年記念「あだち鉄道ミュージアムス ペシャル」開催	10月13日	2,191名	24件	
11	「あだちから子どもに伝えたいもの 大ひょうげん×祭「ABSAI」開催	7月26日	1,942名	28件	
12	SDGs 未来都市特設サイト制作・公開	3月27日	1,991名	27件	
13	「あだち菓子博2022 inアリオ西新井」開催	10月17日	1,803名	25件	【新聞・1件】東京新聞 【テレビ・2件】TOKYOMX「newsFLAG」、フジテレビ「ノンストッ プ」
14	足立区のおいしい給食フェア開催	11月7日	1,765名	27件	【新聞・1件】読売新聞 【テレビ・2件】TOKYOMX「newsFLAG」、J:COM「つながるNews」 【WEB・2件】日本食糧新聞、教育新聞
15	ふるさと納税返礼品拡大	10月5日	1,703名	21件	【新聞・6件】東京新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、 都政新報(2回) 【テレビ・2件】TBS「Nスタ」、日テレ「news every.」 【WEB・1件】ストブレ! (webサイト)
16	参院選アリオ西新井期日前投票所オープン	6月22日	1,505名	21件	TOKYOMX「newsFLAG」
17	「足立にまつわる本」の特設コーナーを足立区内 で一斉に展開	9月29日	1,264名	25件	【新聞】読売新聞(江東版) 【WEB】ストブレ! (webサイト)
18	区制90周年記念特別展「琳派の花園 あだち」 スタート	10月6日	1,249名	21件	【新聞】朝日新聞
19	日本郵便株式会社と包括連携協定締結	3月2日	1,206名	21件	
20	「LGBTを知る本」を発行	6月6日	1,181名	25件	【新聞・3件】毎日新聞、教育新聞、月刊広報 【WEB・1件】Advertimes. (アドタイ)
21	銭湯組合企画「萩夏みかん湯」開催	4月20日	1,141名	35件	
22	”電通キャタピラーズ”が”足立区の銭湯”の魅 力発信を目的としたPVを公開	8月19日	1,139名	22件	J:COM「つながるNews」
23	認知症月間スタート	9月1日	1,118名	19件	読売新聞
24	多国籍美術展「Cultural BYO. . . ね!」開催	11月29日	1,113名	26件	
25	第一生命保険株式会社と包括連携協定締結	7月25日	1,112名	20件	【新聞・2件】都政新報、東京新聞
26	信金中央金庫が足立区の魅力を発信する事業に、 1,000万円を寄附	2月21日	1,111名	27件	
27	「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に ダブル選定	5月23日	1,110名	42件	都政新報
28	日本芸術文化振興会が連携協力協定を締結	6月29日	1,093名	29件	読売新聞
29	中央図書館が「子どもの読書活動優秀実践図書 館」に選ばれ、文部科学大臣表彰を受賞	4月25日	965名	21件	
30	GWにおすすめ足立区のお出かけスポット紹介(生 物園、ギャラクシティ、都市農業公園)	4月26日	902名	29件	
31	「命以外のすべてを失った」拉致被害者・蓮池薫 氏による記念講演会のアーカイブ動画配信	6月1日	854名	21件	
32	リコージャパン株式会社とSDGsの推進に関する連 携協定を締結	7月28日	819名	23件	
33	パラスポを遊びつくせ!開催	2月3日	816名	21件	
34	足立区が全国広報コンクールの「映像部門」で入 選二席(第3位)&読売新聞社賞を受賞	6月8日	812名	20件	都政新報
35	食育月間スタート	6月15日	741名	25件	
36	戦争体験者のインタビューなどを収録した広報番 組を制作	8月8日	741名	20件	
37	しょうぶまつり開催	6月2日	721名	31件	朝日新聞
38	あだちサポートテラス「SODA(ソーダ)」 オープン	7月5日	597名	21件	
計			94,177名	949件	掲載実績 【テレビ】17件 【新聞】30件 【WEB】18件

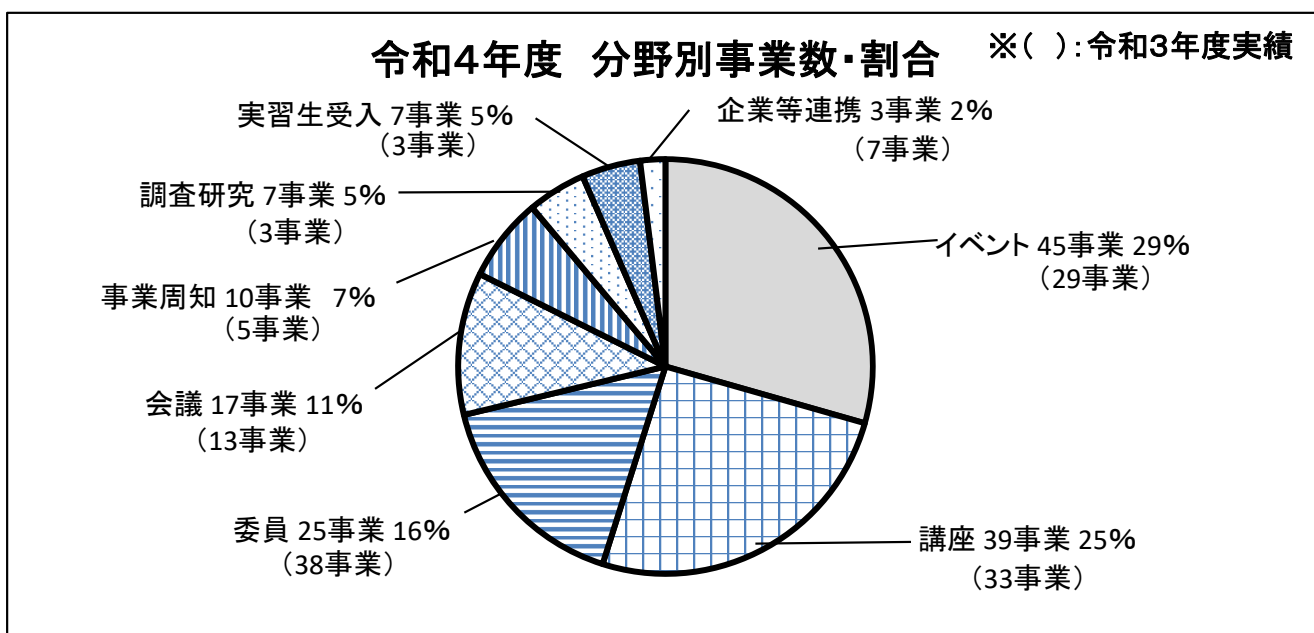
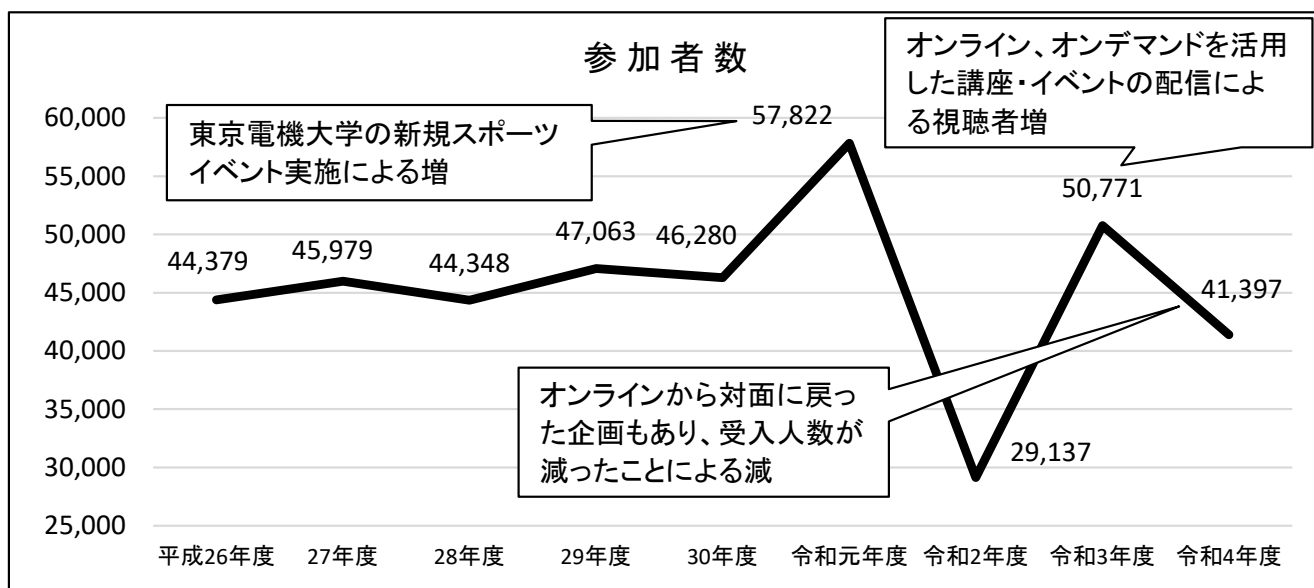
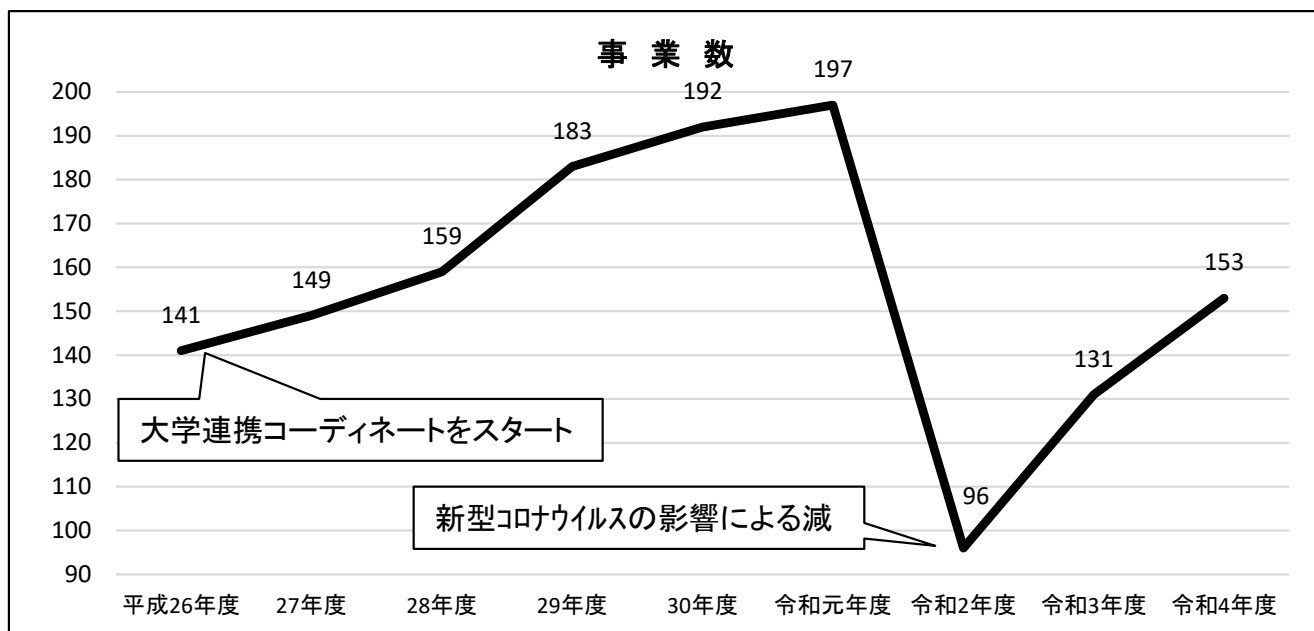
総務委員会情報連絡

令和5年6月26日

件名	令和4年度区内六大学との連携事業一覧について
所管部課	政策経営部 シティプロモーション課
内容	<p>令和4年度に実施された、足立区と放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学、東京電機大学、文教大学との連携事業についての調査結果をとりまとめたので報告する。</p> <p>※ 六大学名の並びは開学・開設順</p> <p>1 大学連携事業について</p> <p>区内大学それぞれの専門性を活かし、区と相互に連携して実施する事業。区民向けの講座やイベント、庁内各種会議における学識委員の選出など様々な事業を実施している。</p> <p>活力ある地域づくりや人材育成を図り、地域社会の発展と大学の教育・研究に寄与することを目的とする。</p> <p>2 実施した事業数</p> <p>153事業（昨年度 131事業）</p> <p>※ 事業数の推移等については資料1のとおり</p> <p>3 参加者数</p> <p>41,397人（内、動画配信閲覧者数 1,616人）</p> <p>※ 昨年度 50,771人（内、動画配信閲覧者数 16,578人）</p> <p>4 各事業の詳細について</p> <p>資料2のとおり</p> <p>5 調査結果の活用について</p> <p>① 各大学の専門性を活かした事業を展開できるよう、庁内各部署と情報を共有していく。</p> <p>② 大学連携事業に関する行政評価の指標として活用する。</p> <p>③ 区ホームページに掲載し、連携事業の区民への周知を図る。</p> <p>6 今後の方針</p> <p>① 区民ニーズをとらえた大学連携事業の推進を図るため、区と大学による協議を進めていく。</p> <p>② 庁内関係所管課との連絡会等において情報共有や発信を強化し、事業全体の見せる化を進める。</p> <p>③ 地域や企業・団体と大学の連携企画や学生の地域活動をサポートし、区民が大学を身近に感じる環境づくりに取り組んでいく。</p>

六大学との連携事業

資料 1



令和4年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

本表の並び順について

「事業区分」①講座 ②イベント ③委員 ④会議 ⑤調査研究 ⑥実習生等受入 ⑦企業等連携 ⑧事業周知 ⑨補助金 の順

「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載

「大学」(足立区での開設順) 放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」(年齢を基準に区分) 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課	
1	講座	放送大学	全区民	あだちの大学リレーイベント企画「これからの時代を生きる子どもを育てるヒント」	東洋英和女学院大学名誉教授	池田裕恵名誉教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。幼少期に育むべき力である「非認知能力」や子どもが遊びを通して育つことについて学ぶ講座。	対面 オンライン	9/3	1	100人	59人	—	政策経営部	シティプロモーション課	
2				アリストテレスに学ぶ 哲学とはどういう学問なのか?	お茶の水女子大学文教育学部人文科学科	中野裕考准教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	2/5	1	70人	62人	26,000	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
3	講座	東京藝術大学	小中学生	あだちの大学リレーイベント企画「みんなで楽しむ音楽とダンス！」	東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科	酒井雅代助教 山崎朋助手 石川清隆特任助手 中野哲助手 南條由起(プロヴァイオリニスト)	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。児童はクラシック音楽と身体をつかった「あそび」と「まなび」を体験。保護者はアート体験を通じた「まなび」についての講座受講。	対面	1/29	1	80人	64人	162,600	政策経営部	シティプロモーション課	
4				全区民	だれでもピアノ体験講座	音楽学部音楽文化専攻	佐野靖教授	藝大とヤマハが共同開発した誰でもピアノを子どもから高齢者までが体験。	対面	2/6	1	—	39人	—	政策経営部	シティプロモーション課
5	講座	東京未来大学	幼児	親子で楽しむ 着ぐるみミニ運動会	こども心理学部	今井康晴准教授	大学生が企画した運動会を連携して開催。	対面	12/17	1	15組	16人	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
6				小学校入学にむけて 家庭での大切な準備	こども心理学部	今井康晴准教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	7/2	1	20組	14人	18,000	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
7			小中学生	あだちの大学リレーイベント企画「あそびと対話で育てよう 子ども人間力」	こども心理学部	今井康晴准教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。SDGsに関する絵本の読み聞かせ、非認知能力育成の実践として、親子で廃材を活用したおもちゃづくりを実施。	対面	10/30	1	25組	58人	18,300	政策経営部	シティプロモーション課	
8			大学生	授業へのNPO団体ゲスト登壇(まちづくり論)	モチベーション行動科学部	森下一成教授	NPO団体がゲストスピーカーとして、自身の活動等について講演。仕事観や地域活動等について学生の学びに寄与する機会として森下一成教授から登壇の要望があり、実現。	対面	12/22、1/12	2	—	—	—	—	あだち未来支援室	協働・協創推進課
9			全区民	日本の城と千住との縁 新視点で見る歴史の魅力	こども心理学部	西野道博講師	大学の専門性を活かした講座。	対面	4/14~5/12	4	40人	93人	80,000	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
10				公開講座「親子でおもちゃクラフト制作」	こども心理学部	今井康晴准教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	3/12	1	25組	34人	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
11				公開講座「残したい記憶を絵日記のように描く 記憶画講座」	こども心理学部	高橋文子准教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	2/16、3/2	2	20人	27人	12,480	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
12				公開講座「ハッピーエイジングの心理学」	モチベーション行動科学部	島内晶准教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	3/6	1	30人	27人	22,400	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
13				現場から見る学習障がいその理解と接し方	こどもみらい園	池田準教員	大学生との連携による子どもの居場所づくり事業。	対面 オンライン	11/5	1	50人	12人	18,000	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
14			講座	帝京科学大学	大学生	認知症高齢者支援事業	医療科学部医療福祉学科	宮本佳子助教	医療福祉学科1年生の授業の枠内で、「認知症になっても住み続けられるまち足立」を目指し、認知症講座を2日制で実施。【座学】認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座【実演】認知症高齢者声かけ訓練	対面	10/25、11/1	2	—	101人	—	高齢者施策推進室
15	帝京科学大学自然環境学科実習	生命環境学部自然環境学科				森長真一准教授	荒川下流域ならではの環境の特性を知り、身近な自然を理解することに繋げることを目的とし、帝京科学大学自然環境学科にて行われる環境野外実習。	対面	5/30	1	—	54人	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課	
16	全区民	スペシャル版おしゃべり処			医療科学部看護学科	田中博子准教授 系井和佳教授 福井郁子准教授	地域の方との憩いのコミュニケーション「おしゃべり処」を連携して開催。	対面	10月~11月	4	—	153人	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
17		あだちどこでも大学「あぶらなの肝臓イキイキ、朱色粉末のオキアミオイル」			地域連携	—	大学による高度で専門的な講座を、区内各地域で提供するために、その開催に向けて地域学習センターおよび大学と調整、実施。(舎人地域学習センターで開催)	対面 オンライン	2/11	1	50人	18人	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
18		ヒトとウィルス 深く長いつながり			生命環境学部アニマルサイエンス学科	渡辺隆之講師	大学の専門性を活かした講座。	対面	7/12	1	40人	17人	22,000	生涯学習支援室	生涯学習支援課	

①講座 放送大学・東京藝術大学・東京未来大学・帝京科学大学

①講座
東京電機大学・文教大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
19	講座	東京電機大学	小中学生	オンデマンドde 科学・ものづくり体験教室	工学部自然科学系列・工学部応用化学科・工学部先端機械工学科・先端科学技術研究科情報通信メディア工学専攻・未来科学部情報メディア学科	田中里美講師 保倉明子教授 佐藤真一講師 小林宏史教授 津國和泉 池田雄介教授 長澤光晴教授 井上竜ノ介助手	オンデマンドによる「科学」と「ものづくり」をテーマとした4つの工作を実施。	オンライン	8/1～8/31	1	260人	260人	815,000	子ども家庭部	青少年課
20			大学生	TDU-FAゲストクリティーク	未来科学部建築学科	-	建築学科における基幹科目「建築設計製図」の演習におけるゲストクリティーク。演習内容は千住地域におけるまちづくりに関するもの。	対面	2/20	1	-	103人	-	エリアデザイン推進室	エリアデザイン計画担当課
21			全区民	東京電機大学未来科学部建築学科イブニングセミナー「利休の茶室は日本の空間か？日本の木造建築の特質」	首都大学東京	深尾精一名誉教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	2/16	1	100人	88人	-	生涯学習支援室	生涯学習支援課
22				あだちどこでも大学「私たちの暮らしの中の半導体」	地域連携	-	大学による高度で専門的な講座を、区内各地域で提供するために、その開催に向けて地域学習センターおよび大学と調整、実施。 (新田地域学習センターで開催)	対面 オンライン	12/9	1	50人	21人	-	生涯学習支援室	生涯学習支援課
23				建築物に求められる喫緊の地球温暖化対策	未来科学部建築学科	百田真史教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	2/26	1	40人	8人	24,000	生涯学習支援室	生涯学習支援課
24				「情報セキュリティの課題と対策」	未来科学部情報メディア学科	寺田真敏教授	セキュリティ分野で注目されているソフトウェアのサプライチェーンについて学ぶ。	対面	12/1、12/2	2	40人	34人	-	産業経済部	企業経営支援課
25				「産学連携で中小企業も基礎的長期的研究を可能に！」	工学部電気電子工学科	柘川重男教授	多くの企業に東京電機大学の技術を利用していただけるように、大学コーディネーターや企業、大学研究者がそれぞれの立場から産学連携についてわかりやすく説明。	対面	2/13	1	40人	31人	-	産業経済部	企業経営支援課
26				産学連携技術促進事業「製造業におけるIoTワークショップ」	未来科学部情報メディア学科	岩井将行教授	自社でIoTを活用するイメージをもってもらう。	対面	6/27、6/28	2	10人	16人	-	産業経済部	企業経営支援課
27				小中学生	夏休みスペシャル 小中学生ナマガくんひろば	人間科学部人間科学科	二宮雅也教授	大学生との連携による子どもの居場所づくり事業。	対面	8/2、8/7 8/9、8/14 9/21、9/28	6	各15人	60人	31,041	生涯学習支援室
28			大学生	アクティブスクール・マネジメント	経営学部経営学科	新井立夫教授	「キャリア教育(職育・食育)の視点を踏まえた新たな『リーダーシップ教育』の在り方」と題した講座。 ・教育指導課指導主事がパネリストとして参加。	オンライン	7/16、11/12 1/21	3	各回200人程度	534人	-	政策経営部	シティプロモーション課
29		公共経営実地演習		経営学部経営学科	新井立夫教授	行政課題の解決提案について、グループディスカッション、担当課への質疑、相談、プレゼンテーションを行う授業。 ・区長、担当課職員による講話を実施。	対面	通年	8	-	80人	-	政策経営部	シティプロモーション課	
30		専門ゼミナール I		国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	エコツーリズムの基礎を学び、フィールドワークを通して、地域デザイン技法を修得する。 ・シティプロモーション課長による講話を実施。	対面	5/12	1	-	30人	-	政策経営部	シティプロモーション課	
31		地域プロジェクト演習 I		国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	事例を元に地域づくりのプロセスを学ぶ。 ・エリアデザイン計画担当課職員による講話を実施。	対面	6/20	1	-	27人	-	政策経営部	シティプロモーション課	
32		地域調査演習		国際学部国際理解学科	山田修嗣教授	行政職員とのインタビューを通して、地域課題等を考える。 ・シティプロモーション課職員、観光交流協会職員が参加。	対面	6/24	1	-	16人	-	政策経営部	シティプロモーション課	
33		ゼミ活動報告会		国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	海津ゼミナールの2022年度活動報告会。 ・各班からの活動報告を傍聴	対面	1/25	1	-	12人	-	政策経営部	シティプロモーション課	
34		地域プロジェクト演習 II		国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	地域づくりに関する課題に対し、解決策の提案をまとめる演習。 ・エリアデザイン計画担当課職員による講話を実施。	対面	9/22、1/19	2	-	8人	-	政策経営部	シティプロモーション課	
35		地域計画特論		国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	まちづくりに関する行政課題についての講義、ディスカッション。 ・シティプロモーション課長による講話を実施。	対面	11/2	1	-	4人	-	政策経営部	シティプロモーション課	
36		サービス・ラーニング(特殊講義)		国際学部国際理解学科	林薫教授	大学生が地域のNPO等が実施する活動に参加し、コミュニティをベースとした実際の課題への対処、自らできることを活動を通して学ぶ(8回の講義と45時間の実習)。	対面	通年	-	-	17人	-	あだち未来支援室、社会福祉協議会	協働・協創推進課、地域福祉部	
37		区民向け講座		国際学部国際理解学科	孫美幸准教授	外国にルーツを持つ子どもたちの支援について考える区民向け講座。多文化共生について研究されているため、孫美幸准教授に講師依頼をした。	対面	1/29	1	対面40人 オンライン50人	68人	20,000	あだち未来支援室	協働・協創推進課	
38		全区民		人間関係の心理学 思い込みと考え方のクセ	人間科学部心理学科	鎌田晶子教授	大学の専門性を活かした講座。	対面	3/12	1	50人	48人	20,000	生涯学習支援室	生涯学習支援課
39		全区民		あだちどこでも大学「お金の記録(会計)の必要性和公認会計士のお仕事」	地域連携課	-	大学による高度で専門的な講座を、区内各地域で提供するために、その開催に向けて地域学習センターおよび大学と調整、実施。 (花畑地域学習センターで開催)	対面 オンライン	1/21	1	50人	13人	-	生涯学習支援室	生涯学習支援課

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
40	イベント	放送大学	全区民	学びピアの縁側	事務局	脇元幸嗣事務局長	学びピア21内の施設が連携して行うイベント。	対面	通年	12	-	-	-	生涯学習支援室	生涯学習支援課
41				学びピア21 SDGsキャンペーン	事務局	脇元幸嗣事務局長	学びピア21内の施設が連携してSDGsキャンペーンを実施。	対面	8月	1	-	-	-	生涯学習支援室	生涯学習支援課
42				学びピアの縁側、出展	東京足立学習センター	サークル「アロマとハーブを楽しむ会」「筆跡研究会」「かかとの会	生涯学習総合施設「学びピア21」の各施設が集まり、体験型プログラムを実施することで、新規利用者の獲得やリピーターの増加、各施設利用者へ横断的な利用を促すことを目的としたイベント「学びピアの縁側」において、放送大学より3サークルが参加。毎月開催のイベントに可能な限り出展した。	対面	毎月1回	12	-	-	-	道路公園整備室	パークイノベーション推進課
43		東京藝術大学	全区民	幼児小中学生	音楽学部音楽文化学専攻	佐野靖教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的な文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施する。	対面	通年	-	-	6,013人	17,043,000	子ども家庭部	青少年課
44				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「Memorial Rebirth 千住」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	無数のシャボン玉で見慣れた景色を変容させ、新たな記憶を生む、現代美術家・大巻伸嗣によるアートパフォーマンス作品を軸に、地域住民との協力で展開するプログラム。平成30年以来となる大規模イベントの令和5年度開催(予定)に向けて、新たな仲間づくりを行うとともに、本事業の周知をねらいとした企画「ふわり◎シャボン玉」を他団体主催のイベント等で実施した。	対面	5/4、7/3 7/30、8/7 8/21、9/10 10/29、11/6 11/18、3/20 3/21	11	-	2,036人	-	政策経営部	シティプロモーション課
45				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「千住だじゃれ音楽祭」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	作曲家の野村誠と公募が集まった市民による音楽団体「だじゃれ音楽研究会」が、多様な人々との共創を通じて、だじゃれと音楽が結びついた「だじゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。主催事業の「1DAYパフォーマンス表現街」への出演や、他団体が主催するアートイベント「隅田川道中」にも出演するなど、野外パフォーマンスを複数回実施した。	対面	10/29、11/6	2	-	100人	-	政策経営部	シティプロモーション課
46				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「千住・人情芸術祭」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	地域の人と場所との関係性に着目した、新たな「縁」を結ぶことを目指す。「1DAYパフォーマンス表現街」では、公募パフォーマー・ゲストアーティストらが、千住ほんちよう商店街等で同時多発的に歌や踊りなどのパフォーマンスを繰り広げた。商店街主催の「こども大名行列」と同時開催し、事前周知や当日の警備・ボランティア等で千住本町商店街振興組合、千住本町五町会、足立成和信用金庫本店の協力を得るなど、地域との新たな縁を紡いだ。	対面 オンライン	11/6	1	-	8,463人	-	政策経営部	シティプロモーション課
47				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「イミグレーション・ミュージアム・東京」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	現代アートの手法を用いて、地域に暮らす外国人との交流を通して多文化社会を紐解く岩井成昭(秋田公立美術大学教授、東京藝術大学非常勤講師)のプロジェクト。区内小学校4校へ海外ルーツを持つアーティストを派遣する等、アートを通じて多文化社会を考えるエデュケーション・プログラムを実施した。また、海外ルーツの方々から公募した絵画など約70点を展示する多国籍美術展を仲町の家で開催した。	対面 オンライン	11/18、11/19 11/21、12/3- 25 1/19、1/21 1/23	7	-	1,370人	-	政策経営部	シティプロモーション課
48				アートアクセスあだち 音まち千住の縁「仲町の家」拠点形成事業	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	江戸時代に建てられた旧家の日本家屋を、アートの拠点・文化交流施設として管理運営している文化サロン。さまざまな人や団体とともに家の活用法を探る「パイロットプログラム」では、特に創作・表現意欲のある若手アーティストや学生の活躍・挑戦の場となっている。	対面	通年	-	-	9,167人	-	政策経営部	シティプロモーション課
49				足立区における多層的な文化芸術環境に関する調査研究委託事業「芸術によるまちづくり事業」	音楽学部音楽環境創造科	田村文生准教授	コンサートや動画配信を通して、区民の文化芸術への関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、区内文化芸術振興に資することを目的とする。コンサートと動画配信(R2年度から)を年4~5回で実施。	対面 オンライン	10/8、11/3 12/6、1/21	4	100人 なし 100人 100人	2,761人	3,000,000	生涯学習支援室	地域文化課
50				足立区における多層的な文化芸術環境に関する調査研究委託事業「福祉と子育て支援事業」	音楽学部音楽文化学専攻	畑瞬一郎教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的な文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 ・具体的事業は以下のとおり ①保育者を対象に音楽を通して乳幼児と関わる意義とその方法の理解を深め、保育実践につながる具体的な音楽活動(おとあそび研修) ②音楽療法のノウハウとスキルを区内保育施設の音楽活動に活用するための出張型園内コンサート及び園内研修 ③障がいのある子どもとその家族を対象としたコンサート	対面	①5/31、6/14 7/5、10/18 11/14、11/29 12/13、1/17 ②7/7、7/14 9/15、9/29 ③11/11~ 3/31	①8 ②4 ③1	740人	1,400,000	子ども家庭部	子ども施設運営課	
51				すすめ!多世代交流祭り	国際芸術創造研究科	藤枝裕(後期博士課程)	地域包括支援センター西部ブロック、6か所の地域包括支援センターが集まり地域包括支援センターのPRを主目的として、ホウカツのみならず各種団体の協力を得て、多世代が集うイベントであった。	対面	10/29	1	-	300人	-	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
52				すみだ川アートラウンド	国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	「音まち計画」からの依頼で、圏域内のサロン等を紹介した。谷中のおかつが劇団うめはらの活動に2回参加し、自作ダンスの振り付けなどを行った。また、野村誠氏が梅田クラブの活動に2回参加し、アジアの楽器などを用いた遊びなどを行った。	対面	7/21、10/6 1/18、2/15	4	-	-	-	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
53		東京未来大学	全区民	小中学生、高校生	こども心理学部	高橋文子准教授	大学生指導のもと、アートに興味ある中高校生が色鉛筆を使ったデッサン・レジンアクセサリーづくりから自己表現を学ぶ。	対面	6/12	1	25人	21人	-	子ども家庭部	青少年課
54				学生が提案したコースを楽しむ 千住まち歩き	モチベーション行動科学部	森下一成教授	森下ゼミ生と連携し、学生が提案したコースを学生が案内するまち歩き。	対面	11/3	1	15人	14人	5,000	生涯学習支援室	生涯学習支援課
55				くらしフェスタ	こども心理学部、エンrollmentマネジメント局	木内菜保子教授 鈴木哲也教授 西村実穂講師 阿部央雄CA	消費生活に関する知識を啓発するイベント。未就学児、小学生またはその保護者1に向けた啓発をターゲットとしたワークショップを出展する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により縮小開催(主に人を配置しない展示会)が決定したため、不参加となった。なお、企画などの打合せ等は行った。	対面	10/19~ 10/25	5	-	-	-	産業経済部	産業政策課
56	第1回MIRAI FES			-	田中翔CA 学園祭実行委員会	東京未来大学の学園祭「第1回MIRAI FES」において、学生や地域の人たちに気軽に「SDGs」に触れることが出来る場を提供したいと、大学側からあだち再生館にワークショップの依頼があった。当日のワークショップでは、学生が集めた古布を材料にして、オリジナルブックカバーを作成した。衣料品の供給過多など現状について説明し、参加者にリユースやリサイクルの重要性を認識してもらった。	対面	10/30	3	各回10組 20人	42人	-	環境部	環境政策課	

② イベント 放送大学・東京藝術大学・東京未来大学

②イベント 帝京科学大学・東京電機大学・文教大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課	
57	イベント	帝京科学大学	幼児	のびのびプレイデイ	教育人間科学部 幼児保育学科	本多みどり教授 飯泉祐美子教授 杉本信教授 呂曉彤教授 今西ひとみ准教授 木場有紀准教授 巨直子准教授 富岡麻由子准教授 安部久美助教 田口直子助教 松山寛助教 渡辺令子助教 渡部晃子助教 小林咲里亜特任助教	幼児保育学科の大学生と一緒に「カブラ」「アクセサリづくり」など9つの遊びブースを保護者と一緒に自由に遊ぶ。	対面	11/19	1	150人	118人	476,105	子ども家庭部	青少年課	
58			小中学生	ポーリング調査の公開	教育人間科学部 学校教育学科	植木岳雷教授	鹿浜第一小学校の校庭内でポーリング調査を実施。その様子を小学校高学年生に公開し、足立の地質について解説した。	対面	6/8	1	-	-	170人	-	政策経営部	シティプロモーション課
59			小中学生	フラッグフットボール教室	-	-	一般社団法人キャタピラーズが帝京科学大学のグラウンドにてフラッグフットボール教室を開催。案内チラシを千住地域周辺の小学校に配布した。	対面	12/18、2/26 3/5、3/19 3/26	5	各回30人	85人	-	-	政策経営部	シティプロモーション課
60				ふれあい動物教室	生命環境学部 アニマルサイエンス 学科	並木美砂子特任教授	大学から学校に向いて、大学生と交流しながら、モルモット・スナネズミ等とのふれあいを通じて「いのちの大切さ」を体験する。	対面	-	13	-	1,601人	4,871,660	子ども家庭部	青少年課	
61				ENJOY 夢の体験教室	教育人間科学部 学校教育学科保健 体育コース・教育 人間科学部 学校教育学科中高 英語コース・教育 人間科学部 学校教育学科小学校 コース	長見真教授 持田尚准教授 岩沼聡一朗講師 馬場千秋教授 安藤生大教授 大日向浩教授 小池守教授 倉山智春准教授 高田由基助教 石橋裕子教授	小学生向けにわかり易くした4つの大学講義を体験。	対面	10/1、10/15	1	80人	68人	370,538	子ども家庭部	青少年課	
62			体験！1日大学生	生命環境学部 生命科学科臨床工 学コース・生命環 境学部自然環境 学科	堀和芳准教授 山際清史講師	中学生向けにした大学講義を体験することで自らの興味関心を深める。併せて、大学生がキャンパスライフを紹介。	対面	1/21	1	50人	34人	228,827	子ども家庭部	青少年課		
63			ときめき！未来教室	教育人間科学部 学校教育学科小 学校コース	石橋裕子教授	児童養護施設の子どもの達を招待して、大学生と一緒にチームを組み、キャンパス内を探検しながらのウォークラリーをする。	対面	1/21	1	20人	5人	82,847	子ども家庭部	青少年課		
64			大学生	拉致問題啓発パネルの展示	-	-	「北朝鮮人権侵害問題等啓発週間12/10～16」にあわせた啓発事業として、啓発パネルを大学構内に展示した。	対面	12/12～ 12/16	1	-	-	-	-	総務部	総務課
65			清掃美化活動実施団体への登録及び清掃活動の実施	-	-	-	大学として団体登録。月1回以上、定期的に清掃活動を実施する団体に対し、年1回、区が3,300円以内の清掃物品を進呈、及びホームページ等で活動紹介を行う。	対面	毎週 月曜日	50	-	200人	-	-	地域のちから推進部	地域調整課
66			高齢者	千住便利隊・見守り活動	医療科学部医療 福祉学科	山田健司教授、楠永敏 恵教授	千住龍田町会と千住便利隊・見守り活動のコラボ。高齢者の困りごとに対応する学生の訪問。町会役員へ活動報告会を実施。	対面	2/20	1	-	9人	-	-	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
67			小中学生	小学生のためのモノづくり 科学実験 《単極モーターを作ろう～ 電流のふしぎをさぐる～》	未来科学部ロボッ ト・メカトロニクス 学科	汐月哲夫教授	2018年度からはじめた小学生の夏休み自由研究に役立つイベントプログラム『Let's自由研究』のひとつ。モノづくりと科学の不思議を実験しながら体験するという企画。教授が研究室をお持ちになるのが今年最後とのこと、より専門分野に近い単極モーターで電流の仕組みを探ろうというものを、対象は小3～6年生に限定し、講義と実験を交えた内容で実施いただいた。	対面	8/6	1	10人	10人	-	-	道路公園整備室	パークイノベーション推進課
68			電子工作教室	工学部情報通信 工学科・	定松宜義講師	オンデマンド落選者を対象とした対面講座。	対面	10/29	1	30人	22人	-	-	子ども家庭部	青少年課	
69			大学生	ティーンズ向け図書情報誌 「ティーンズスコop」	情報通信工学科、 機械工学科	-	ティーンズをターゲットにした図書情報誌の発行するため、東京電機大学の学生にインタビューを実施した。その中で紹介してもらった「中学生にオススメする本」などを誌面に掲載。	対面	3月	1	-	-	-	-	生涯学習支援室	中央図書館
70			大学生	美化推進協議会 「秋の清掃活動」	-	-	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内を集合場所として提供してもらっている。	対面	10/3	1	-	15人	-	-	地域のちから推進部	地域調整課
71				美化推進協議会 「春の清掃活動」	-	-	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内を集合場所として提供してもらっている。	対面	5/17	1	-	13人	-	-	地域のちから推進部	地域調整課
72	花いっぱいコンクール	生体反応研究室		-	-	花いっぱい運動の一環として実施。大学敷地内の花壇で花の栽培を行い、コンクールに参加する。	対面	年2回	2	-	3人	-	-	地域のちから推進部	地域調整課	
73	小中学生	花畑公園・桜花亭 秋のスポーツ・健康フェスタ2022 縮小版	大学事務局地域 連携部地域連携 課	-	〔身近な公園 de 健康づくり〕がコンセプトの「子どもから大人までが楽しめる、スポーツ・健康づくりに関連したイベント」。コロナ禍で、過去に開催したような大規模イベントは開催できないので、事業内容を厳選し諸々の制限も施したうえで、縮小版と銘打って3年ぶりに開催した。文教大学には、オープニングイベントへの出演(ダンス部)と、学生ボランティア募集(5名)を依頼。	対面	9/25	1	-	439人	-	-	道路公園整備室	パークイノベーション推進課		
74	OからENGLISH	国際学部国際理 解学科	塩沢泰子教授	絵本をもとに、身体を動かして英語の面白さを身近に感じるレクリエーションやジェスチャーゲームを体験する。	対面	9/24、2/5	2	80人	71人	-	-	-	子ども家庭部	青少年課		
75	高校生	淵江高校による大学見学	地域連携課	-	都立高校に区内大学を知ってもらうことで、生徒の今後の活動や進路に役立ててもらう。	対面	7/13	1	-	3人	-	-	政策経営部	シティプロモーション課		

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
76	イベント	文教大学	全区民	はなはた文教マルシェ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	足立成和信用金庫、花畑地区の地域自治会で組織された実行委員会により、草加市も含む大学周辺の地域の皆様の交流促進や地域経済の活性化を目的に企画・運営されたイベント。	対面	10/30	1	—	3,000人	—	政策経営部	シティプロモーション課
77				ぶんこ食堂	国際学部国際理解学科	渡邊暁子教授	学生主催の子ども食堂の実施。 ・チラシ配布等の周知協力	対面	8/13、2/12	2	40人	80人	—	政策経営部	シティプロモーション課
78				あだち学	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	「地元学」として地域の魅力発掘や活性化について学ぶ。 ・地域向けに研究した内容の発表会を桜花亭で実施。	対面	4/17	1	—	48人	—	政策経営部	シティプロモーション課
79				出張展示「世界を旅するおはなし会 で出会うプリンセス」	大学事務局学術情報部図書館課	—	【内容】文教大学東京あだち図書館の特集コーナーにて、共同展示を行った。花畑図書館で開催している「世界を旅するおはなし会」で紹介したプリンセスが活躍する絵本を展示した。 【目的・経緯】昨年からの継続事業で資料展示などを通して花畑図書館の「世界を旅するおはなし会」の認知と利用促進を図る。	対面	6/30～8/4	1	—	385人	—	生涯学習支援室	中央図書館
80				高校生によるあだち未来スケッチ発表会	国際学部国際理解学科	林薫教授	多様な人々や団体が柔軟につながるプラットフォーム事業として実施したイベントに大学生が運営スタッフとして参加。	対面	11/20	1	70人	37人	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課
81				ステップアッププログラム	経営学部経営学科	鈴木誠教授	「ステップアッププログラム」セミナーの最終発表会でのコメンテーターとして依頼。	対面	2/9	1	—	27人	—	産業経済部	企業経営支援課
82				せんきょけんエラビーを探せ！	—	—	文教大学の学園祭における選挙啓発を目的としたクイズラリーの実施。選挙機器の実演。	対面	11/12、11/13	2	—	114人	—	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局
83				東京未来大学/文教大学	全区民	2030あだち未来スケッチ地域活動交流会	モチベーション行動科学部/国際学部国際理解学科	森下一成教授 林薫教授	多様な人々や団体が柔軟につながるプラットフォーム事業として実施したイベントに大学生が運営スタッフとして参加。	対面	6/26	1	60人	57人	—
84	東京藝術大学/東京未来大学/帝京科学大学	大学生	春のごみゼロ地域清掃活動	—	—	区「春のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力依頼済み。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。(5/16藝大、5/31未来大、6/27帝科大)	対面	5/16、5/31 6/27	3	—	34人	—	地域のちから推進部	地域調整課	

② イベント 文教大学・複数大学

③委員
放送大学・東京藝術大学・東京未来大学・帝京科学大学・東京電機大学・文教大学・複数大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
85	委員	放送大学	—	コールセンター事業	情報コース	中谷多哉子教授	統合電話センター運営業務委託事業者選定委員会の学識委員。	対面 オンライン	8/30、10/18 12/27	3	—	18人	60,000	政策経営部	区民の声相談課
86		東京藝術大学	—	足立区文化芸術劇場運営評価委員会	音楽学部音楽環境創造科・大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	芸術劇場の施設運営を円滑に推進するため、シアター1010指定管理者の評価。	対面	9/7	1	10人	5人	23,000	地域のちから推進部	地域文化課
87		東京未来大学	—	公契約等審議会委員	モチベーション行動科学部	田中真奈美教授	足立区公契約等審議会の学識委員。	対面	6/2、10/14 2/8	3	4人	11人	63,000	総務部	契約課
88				足立区いじめ等調査委員会	こども心理学部	大橋恵教授	足立区いじめ等調査委員会の委員。	対面	4/19、5/10 5/31、6/29 8/16、9/22 12/13、2/10 2/20、3/13 3/27	11	—	33人	—	総務部	特命・調査担当
89				六町駅前区有地活用事業者選定委員	モチベーション行動科学部 まちづくり＋公共キャリア研究室	森下一成教授	六町駅前区有地活用事業整備・運営事業者についての委員会の有識者委員。	対面	10/20	1	—	1人	18,000	総務部	資産管理課
90				足立区防犯専門アドバイザー	こども心理学部	出口保行教授	足立区ビューティフル・ウィンドウズ運動を推進し、犯罪抑止対策を効果的に行うため。	対面	2/28	1	—	12人	60,000	危機管理部	危機管理課
91				子ども支援専門部会特別部会員	こども心理学部	小谷博子准教授	子ども支援専門部会の特別部会員。	対面 書面	7/22、12/16 3/17	3	—	60人	54,000	子ども家庭部	子ども政策課
92				帝京科学大学	—	福祉サービス苦情等解決委員会	医療科学部医療福祉学科	加藤洋子教授	福祉サービスの向上を目的に平成12年に設置された「福祉サービス苦情等解決委員会」の学識委員。	対面	5/30、11/21 1/24	3	—	17人	60,000
93		足立区精神障がい者施設指定管理者選定等審査会委員	医療科学部看護学科			吉岡幸子教授	会長に就任いただき、精神障がい者自立支援センターの次期指定管理者選定及び業務評価を実施した。	対面	9/20、11/4 12/20	3	—	40人	60,000	衛生部	中央本町地域・保健総合支援課
94		東京電機大学	—	足立区バリアフリー協議会委員	未来科学部建築学科	山田あすか教授	足立区バリアフリー協議会の学識委員。	書面	5/13、7/8 9/29、3/15	4	38人	152人	—	都市建設部	都市建設課
95				足立区のSDGs推進にかかる綾瀬駅西口高架下空き店舗運営業務委託プロポーザル選定委員会	未来科学部建築学科	荻原雅史講師	足立区のSDGs推進にかかる綾瀬駅西口高架下空き店舗運営業務委託事業者の選定委員会の学識委員。	対面	10/4、11/22 1/17	3	—	—	—	政策経営部	SDGs未来都市推進担当課
96				足立区立鹿浜西小学校用地活用事業者選定委員	未来科学部建築学科	菅原大輔准教授	鹿浜西小学校用地活用事業整備・運営事業者についての委員会の有識者委員。	対面	9/26、12/15 2/7	3	—	3人	60,000	総務部	資産管理課
97				足立ブランド認定推進事業	工学部先端機械工学科	清水康夫教授	足立ブランド企業認定の選考委員会の委員。	対面	4/27、11/18 12/16、1/16	4	7人	28人	80,000	産業経済部	産業振興課
98				足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会の審査委員。	都市デザイン研究室	土田寛教授	足立区内に高度かつ専門的な医療の機能を有する大学病院を新たに開設する者に対し、大学病院の施設等の整備費の一部を補助することにより、区民が安心できる地域医療の充実を図ることを目的とする。	対面	2/28	1	6人	6人	15,000	衛生部	衛生管理課
99				足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員	未来科学部建築学科	山田あすか教授	足立区ユニバーサルデザイン推進会議の学識委員。	対面 オンライン	5/19、12/7 1/25	3	15人	20人	—	都市建設部	都市建設課
100	文教大学			—	あだち子どもの未来応援基金審査会	国際学部国際理解学科	林薫教授	あだち子どもの未来応援基金審査会の委員。	対面	4/11、12/12	2	—	5人	46,000	あだち未来支援室
101		創業支援施設入居者選考委員会	経営学部経営学科		鈴木誠教授	創業支援施設入居者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	7/1、10/14	2	—	10人	—	産業経済部	企業経営支援課	
102		創業プランコンテスト選考委員会	経営学部経営学科		鈴木誠教授	創業プランコンテスト採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	7/1、7/22	2	—	10人	—	産業経済部	企業経営支援課	
103	東京未来大学/東京電機大学/文教大学	—	足立区区民評価委員会	子ども心理学部子ども心理学科/未来科学部建築学科/人間科学部人間科学科	藤後悦子教授/荻原雅史講師/宮地さつき講師	足立区区民評価委員会の学識委員。	対面 オンライン	4/22	1	17人	14人	—	政策経営部	政策経営課	
104	東京藝術大学/東京未来大学/文教大学	—	足立区ギャラクシティ運営評価委員会	音楽学部/こども心理学部こども心理学科/教育学部	伊志嶺絵里子非常勤講師/渡辺千歳教授/山縣朋彦教授	ギャラクシティの施設運営を円滑に推進するため、足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホール指定管理者の評価。	対面	8/31、9/2	2	10人	12人	126,000	地域のちから推進部	地域文化課	
105	帝京科学大学/文教大学	—	外国にルーツを持つ児童生徒等に対する学習支援事業	教育人間科学部学校教育学科/国際学部国際理解学科	神谷純子准教授 渡邊暁子准教授	外国にルーツを持つ児童生徒等に対する学習支援事業委託受託事業者評価委員会の委員。	対面	12/20	1	—	5人	21,000	地域のちから推進部	地域調整課	

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課
106	委員	放送大学/東京電機大学	—	粗大ごみ受付業務および関連システム運用・保守業務委託プロポーザル選定委員	オンライン教育センター長/未来科学部ロボット・メカトロニクス学科	中谷多哉子教授 榎垣博章教授	令和5年3月末で現行システムを受託している東京都環境公社の撤退により、令和5年4月から新規システムを導入する。	対面	4/15、6/27/7	3	—	21人	114,000	環境部	足立清掃事務所
107		東京未来大学/東京電機大学		小中学校用務業務委託事業者選定委員会	保育・教職センター/管財部	長谷川かほる特任教授 /井山義信部長	小中学校用務業務委託事業者選定委員会の学識委員。 シティープロモーション課大学連携担当係長の紹介。	対面	9/29、12/16	2	7人	13人	40,000	学校運営部	学校支援課
108		東京未来大学/帝京科学大学		子ども施設指定管理者等選定審査会委員	こども心理学部/教育人間科学部 幼児保育学科	佐々木由美子教授/富岡麻由子准教授	子ども施設指定管理者等選定審査会の委員。	対面	8/10、10/14	2	—	13人	88,000	子ども家庭部	子ども政策課
109		東京電機大学/文教大学		公益信託あだちまちづくり トラスト運営委員会	国際学部国際観光学科/ システムデザイン工学部情報システム工学科	清水麻帆准教授 松井加奈絵准教授	公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会における学識委員。 助成の給付対象、給付額および給付方法等の決定を行う。 まちづくり活動成果発表会への出席および講評。	対面	7/26、10/26 2/9	3	11人	56人	—	都市建設部	まちづくり課

③委員
複数大学

④会議
放送大学・東京未来大学・帝京科学大学・東京電機大学・文教大学・複数大学

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課		
110	会議	放送大学	—	学びピアの縁側会議	事務局	脇元幸嗣事務局長	学びピア21内の施設が連携して行うイベント「学びピアの縁側」のための会議。	対面	通年	4	—	—	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課		
111				学びピアCI会議	事務局	脇元幸嗣事務局長	学びピア21内の施設が連携し、学びピア全体の魅力アップのための会議。	対面	通年	3	—	—	—	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
112		東京未来大学	—	地域活動支援	モチベーション行動科学部	森下一成教授	学生によるまちづくり活動のコーディネート。	対面	4月～9月	1	—	25人	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課		
113		帝京科学大学	—	地域活動支援	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	学生によるまちづくり活動(地域の居場所づくり)について、各種活動団体や区民講師とのコーディネート。	対面	4月～9月	1	—	—	—	—	生涯学習支援室	生涯学習支援課	
114				千住便利隊	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授、楠永敏恵教授	地域福祉の一環として学生チームが高齢者のお宅に行き、無償ボランティアで高齢者の困りごと(掃除・買物・話相手・スマホ操作・外出介助等)に対応する。介護保険外の地域福祉サービスのため、ケアマネジャーとの顔合わせ会、結果報告会を行なった。	対面	4/15、1/20	2	—	74人	—	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課	
115				生活支援体制整備事業	医療福祉学部医療福祉学科	柘崎京子教授、藤江慎二准教授、柴野裕子助教	ゆるやかなサポート講座(通いの場における互助活動の促進に向けた講座)の実施にあたり、講座企画を相談した。2つのゼミの協力をいただいた。学生は、①ワークショップへの参加、②フィールドワーク(民生委員等へのヒアリング)をへて、「認知症の人が参加できる場に必要なこと」をまとめて講座にて発表、意見交換を行った。	対面	5/18、7/17/8、11/19	4	20人	16人	—	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課	
116				地域ケア会議	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	地域包括支援センターや町会などが地域の中で孤立をキャッチしても、その方を見守る仕組みが脆弱である。そこで、大学生が行う訪問や住民同士で見守り見守られるシステムを構築された山田先生のお話しを拝聴し、地域で何がどこまでできるかを検討する。	対面	12/23	1	—	13人	—	—	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
117				西新井仲町会役員会	医療科学部医療福祉学科	山田健司教授	先の地域ケア会議に参加された町会長を通じて、西新井仲町会役員の皆様に住民同士の見守りシステムを提示した。一度、町会に持ち帰り検討することとなった。	対面	1/27	1	—	9人	—	—	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課
118		東京電機大学	—	避難所の現地確認等	—	佐藤総務部長 井山管財部長	避難所を運営する避難所運営会議の役員より、震災時の避難所となる東京電機大学東京千住アネックスの現地確認を行いたいとの要望を受けたことにより実施。	対面	1/18	1	15人	15人	—	—	総合防災対策室	災害対策課	
119		—	ものづくり支援事業	CRC地域連携担当	深澤武彦課長	—	あだち異業種連絡協議会から東京電機大学と連携して異業種フォーラムを開催したいとの依頼があり、連携事業について確認するため、打合せを行うこととなった。	対面	6/18	1	10人	10人	—	—	産業経済部	産業振興課	
120		文教大学	—	パークミーティング	—	—	桜花亭主催の地域の会議。	対面	6/21、10/4 3/7	3	—	66人	—	—	政策経営部	シティプロモーション課	
121				経済活性化会議	経営学部経営学科	鈴木誠教授	—	足立区経済活性化基本条例第8条に基づき設置される区長の附属機関。経済活性化基本計画に関する調査・審議を行う。	対面	9/6	1	12人	7人	18,000	—	産業経済部	産業政策課
122				花畑団地周辺地区まちづくり協議会	総務部法人総務課	矢島由香 須賀智也 黒澤鮎美	—	毛長公園周辺工事の進捗状況、文教大学との連携について、まちづくりのための情報提供及び検討。	書面	12/7	1	32人	32人	—	—	都市建設部	まちづくり課
123		六大学	—	学長会議・実務者会議	—	—	学長会議では、区長と学長が集まり意見交換を行う。各大学の実務者と区で情報共有を行う。	オンライン	6/28、8/26 10/20、2/21	4	—	118人	—	—	政策経営部	シティプロモーション課	
124		放送大学/ 千葉大学/ 東京未来大学	—	孤立ゼロプロジェクト推進事業	—	宮本みち子名誉教授/ 角山剛学長	孤立ゼロプロジェクト推進連絡会の委員として助言等を行っている。(一人暮らし高齢者の孤立対策という視点から)	対面	2/9	1	26人	25人	—	—	地域のちから推進部	絆づくり担当課	
125		東京未来大学/ 文教大学	—	発達障がい学生支援事業	こども心理学部/ 東京あだち教育支援課	—	—	令和3年度に実施したアンケート集計結果および今後の連携体制に関する意見交換会。	対面	12/8	1	—	12人	—	—	福祉部	障がい福祉センター
126	東京未来大学/ 帝京科学大学	—	教育利用研究会	こども心理学部/ こども学部幼児保育学科	高橋文子准教授、小林祐一准教授、木場有紀准教授	—	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	7/8、7/21 9/15、12/13 2/20	5	—	36人	75,000	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課	

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	実施回数	定員	参加人数	大学への支払額	部・室	課	
127	調査研究	東京未来大学	—	冒険あそびに関する共同研究	こども心理学部	横畑泰希准教授	公園あそび(冒険あそび)にて、こどもたちの心理や行動における変化、スタッフの関わり方と子どもの変化の関係について共同研究を行う。また、プレイリーダー養成に関する指導も願います。	オンライン	10/7、2/28	2	—	6人	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課	
128		帝京科学大学	—	フレイル予防	医療科学部東京理学療法学科	奥田裕講師	理学療法学科の奥田先生より、地域の高齢者の体力測定とリハビリについて、自主サークル活動中の方を対象に測定値を図り、今後の研究に生かす。	対面	3/8	1	—	12人	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課	
129				「足立区地域在住高齢者に対する身体活動量に影響する因子の検討」協力	医療科学部東京理学療法学科	奥田裕講師、小山優美子助教	左記研究を行うにあたり、当課の事業「はじめてのフレイル予防教室」「高齢者体力測定会」での対象者勧誘を実施。	対面	6/23、7/16	1	10人	4人	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課	
130				ふれあい動物およびふれあいコーナーの改善に関する共同研究	生命環境学部アニマルサイエンス学科	並木美佐子教授	モルモットなどのふれあい動物に対して、ふれあいとストレスの関連、スタッフや来園者との関わりについて共同研究を行う。	対面	9/12、11/7、11/14	3	—	15人	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課	
131		文教大学	—	国際ボランティア学会	国際学部国際理解学科	林薫教授	国際ボランティア学術大会は、ボランティアに関わる研究者・実践者たちにより開催されるボランティア活動の情報発信、交流の場で、今回は文教大学東京あだちキャンパスが開催地となった。1日目は、午前午後各研究者の発表を行い、夕方公開シンポジウム(共通論議セッション)を行った。公開シンポジウムでは足立区の課題と協働・協創について協働・協創推進課の栗木課長と区内NPO団体が講演した。2日目は足立区およびUR都市機構が推進する「竹の塚まちづくりラボ」のイベント、区内で子どもの居場所作り活動を行う一般社団法人おせっかいプロジェクトの見学。	対面	2/18、19	1	—	1人	—	あだち未来支援室	協働・協創推進課	
132				卒業研究	—	長谷川幸子非常勤講師	生物園をフィールドとした卒業研究における資料の提供や調査地としての協力。	対面	随時	随時	—	6人	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課	
133				特別支援教育における研究交流事業	教育学部特別支援教育専修	小野里美帆教授	研究交流事業として、研究学生受入校を募集。教授による支援を要する児童(受入校1校につき1人)の行動観察・助言指導及び研究学生による週1回の支援。受入校との合同会議、全小中学校教員等を対象に報告会を実施。	対面	7月～2月	43	2人	41人	195,800	子ども家庭部	支援管理課	
134	実習生等受入	帝京科学大学	大学生	帝京科学大学社会福祉士養成実習(相談援助実習)受入れ	医療科学部	—	社会福祉士としての必要な知識及び技術について理解を深めるための実習。	対面	8/12～9/22	1	1人	1人	—	福祉部	生活保護指導課	
135				看護師実習	医療科学部看護学科	—	現場実習。	対面	随時	—	—	6人	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課	
136				社会福祉士実習	医療科学部医療福祉学科	浅沼太郎講師	現場実習。	対面	8月	—	—	1人	—	高齢者施策推進室	地域包括ケア推進課	
137				インターンシップ	生命環境学部アニマルサイエンス学科	戸澤あきつ講師(東京農業大学)	生物学や飼育を専門にしている学生に、キャリアアップのための実践的な飼育や解説体験を実施。	対面	3/1～3/10	1	—	1人	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課	
138		文教大学	大学生	臨床心理実習	人間科学研究科臨床心理学専攻	—	大学院生2名をチャレンジ学級での実習生として受け入れ。	対面	通年	80	—	80人	—	子ども家庭部	教育相談課	
139				心理実習	人間科学部臨床心理学	—	学部生7名をこども支援センターげんきの見学実習生として受け入れ。事業概要を説明した。	対面	6/29	1	—	7人	—	子ども家庭部	教育相談課	
140		帝京科学大学/文教大学	大学生	学芸員実習	—	沖永荘八学長/中島茂学長	博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験を実施。	対面	8/21～8/30	1	6人	7人	—	道路公園整備室	パークイノベーション推進課	
141	企業等連携	東京電機大学	全区民	産学連携技術促進事業技術相談事業	研究推進社会連携センター	小島芳和コーディネーター	区内事業者からの技術相談受付、区内企業訪問、産学連携マッチング等を行う。	対面	通年	—	—	58人	—	産業経済部	企業経営支援課	
142		東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	大学生	大学生地域活動プラットフォーム	—	—	区内企業の若手経営者と学生のオンライン交流会及び区内企業へのインタビュー。区内企業との商品開発。	対面 オンライン	通年	37	—	127人	5,000,000	政策経営部	シティプロモーション課	
143	事業周知	六大学	大学生	アヤセ未来会議2022	—	—	参加者一人ひとりの“街でやりたい、やってみたい”という思いを掘り下げながら、綾瀬をさらに良い街にしていけるために必要なアイデアを参加者同士が話し合い、実践していくワークショップ「アヤセ未来会議2022」の参加者募集チラシの配布を依頼。	—	10/14	1	—	—	—	政策経営部	SDGs未来都市推進担当課	
144				「足立区拉致問題等啓発推進条例制定記念講演会」チラシの配布協力	—	—	令和3年7月に施行した「足立区拉致問題等啓発推進条例」の制定を記念した講演会の実施に伴い、若年者への啓発の一環として、大学構内でのチラシ配布の協力を依頼した。	—	4/18	1	—	—	—	総務部	総務課	
145				「原爆・平和・戦争を考える展示会」の学生ボランティア応募チラシ配布協力	—	—	足立区原爆被害者の会(足友会)主催で8月に実施している「原爆・平和・戦争を考える展示会」における学生ボランティアの募集。高齢化する会員の運営補助や、若年者への継承を目的としている。	—	6/27	1	—	—	—	総務部	総務課	
146				オウム真理教勧誘防止チラシ配布の協力	—	—	—	新入生を対象にオウム真理教についての注意喚起チラシを配付し、若い世代の入信を防止する。	—	3/9	1	—	—	—	危機管理部	危機管理課
147				自宅での自転車へ鍵掛け啓発チラシの配付の協力	—	—	—	刑法犯認知件数のうち自転車盗が3割を占めており、そのうちの約6割が自宅被害に遭っていることを周知し、自宅での鍵掛けを啓発する。	—	3/9	1	—	—	—	危機管理部	危機管理課
148				令和4年刑法犯認知件数周知チラシの配付の協力	—	—	—	令和4年は刑法犯認知件数が5年ぶりに増加した。毎年ダントツで件数が多いのは自転車盗。被害にあっているのは圧倒的に10代20代であり、自転車の鍵掛けを啓発する。	—	3月下旬	1	—	—	—	危機管理部	危機管理課
149				客引き行為等防止条例周知チラシの配付の協力	—	—	—	令和5年4月1日から「客引き行為等の防止に関する条例」が施行されることに伴い、客引き行為等についていかないということを啓発する。	—	3月下旬	1	—	—	—	危機管理部	危機管理課
150				「若者向け相談事例集の配布」の協力	—	—	—	令和4年に成年年齢引き下げに関する若者向けの相談事例集を作成した。作成物について各大学に配布の協力を依頼した。	—	3/2、3/13	1	—	—	—	産業経済部	産業政策課
151				「地球にやさしいひとのまち」ポスターコンクール応募チラシの配布	—	—	—	区民が環境問題について考えながらポスターを作成することにより、環境問題に対する知識や理解を深めてもらい、その啓発を目的とした事業。小・中学生だけでなく一般からも募集しているため、大学生に周知するため配付を依頼。	—	8月～10月	1	—	—	—	環境部	環境政策課
152				「スクールアシスタント募集」チラシ配布の協力	—	—	—	スクールアシスタント募集のチラシを区内六大学に配布し、事業周知をすることで、スクールアシスタントの充実を図る。	—	4/28	1	—	—	—	子ども家庭部	支援管理課
153	補助金	東京電機大学	—	高等教育機関が設置する創業支援施設の運営に対する補助金	研究推進社会連携センター	—	創業期の事業者の自立を支援するため、東京電機大学が平成23年に創業支援施設「かけはし」を設置し、運営費を区が補助。	—	通年	—	—	—	26,573,000	産業経済部	企業経営支援課	

⑤⑥⑦
調査実習生
研究受入

東京電機大学・
帝京科学大学・
文教大学・
複数大学・
複数大学・
文教大学

⑧⑨
補助金
周知

東京電機大学
複数大学